

### 「地域福祉とは」

多くの人々は高齢者になっても、心身に障がいがあっても、親しみのある住みなれた場所で、安心と幸せを感じ暮らし続けることを願っています。

その為には、地域の皆さんや、福祉委員、町内会長、民生委員児童委員が中心になって「助け合い・支え合い」のできる地域社会づくりに向けて活動していかなければなりません。



5/12(土) 関西福祉大学にて行われた、地域連携フォーラムに13名の地区社協スタッフが参加しました。基調講演にて、元プロマラソンランナーの有森裕子氏「よろこびを力に...～スポーツで地域を変える～」を聴講しました。

6月初旬 第1回友愛訪問を行いました。75歳以上の独居高齢者及び80歳以上の連れ合いをなくされた方を対象とし、熱中症予防のため飲料水を配布しました。



7/5(木) 日生幼稚園にて、七夕会を行いました。地区社協スタッフや地域の方々と共に、園児が野菜に割り箸やマッチ棒をさし、動物を作りました。出来上がった動物たちを笹飾りの前に並べ星の神様にお供えました。



寒河地区社会福祉協議会 会長 川平章

# 寒河地区社協だより

平成31年3月20日 創刊号



主催者代表挨拶: 川平 章

3/9(土)

寒河コミュニティセンターにて、寒河地区社協主催「高齢者まごころの集い」を開催しました。寒河地区の75歳以上の独居高齢者と80歳以上の連れ合いをなくされた方を対象とし、当日は36名の方が参加してくださいました。当日の催し物は、民謡・玉すだれ・変面・カラオケを披露していただき、普段見れない玉すだれや変面では、大いに盛り上がりました。昼食の後は、みなさん楽しみにしているビンゴゲーム大会!!なかなか揃わず大苦戦でしたが、会場は参加者たちの歓喜と笑い声につつまれ、楽しいひと時となりました。



民謡



変面



カラオケ



玉すだれ



地区社協スタッフ



ビンゴゲーム大会

寒河地区社協スタッフ一同、2019年度も地域のみなさまの安全・安心なまちづくりを目指して活動をしていきたいと思ひます。今後とも、よろしくお願ひいたします。



寒河地区社協 広報編集部一同  
発行責任者 事務局長 川本満美子





12/16(日)

第2回友愛訪問を行いました。  
75歳以上の独居高齢者及び80歳以上の連れ合いをなくされた方を対象とし、女性スタッフは、手作りのちらし寿司を前日より準備をし、当日対象者へ配布しました。「とても美味しい!!」と評判で楽しみに待っています。  
友愛訪問は、住み慣れた地域で安心して暮らしていくため、見守りや声かけ、孤独感の解消などを目的に行っています。



大好評の手作り  
ちらし寿司!!  
具もたくさん♡

9/7(金)

認知症サポーター養成講座を行いました。  
社協職員より、認知症についての症状や  
○×クイズ、寸劇を行いグループワークを行っていただきました。認知症に関して改めて、再確認・再認識するいい機会になりました。



10/26(金)

日生東小学校4年生を対象に、出前福祉体験を行いました。  
今年度より、地区社協のスタッフも一緒に高齢者疑似体験と車いす体験のサポートをしました。  
改めて、車いすの操作方法等の勉強ができて良かったです。



1/11(金)

日生幼稚園にてどんど焼き・ふれあい遊びを行いました。  
地区社協スタッフや地域の方々と共に、やぐらの囲りにお神酒を撒いて清め、お正月飾り、自分で書いた書初めや絵を入れ、1月生まれの園児が点火しました。  
無病息災を祈りながらどんど焼きが燃える様子を見守ったあとは、おもちを食べたり、昔遊びを通して園児たちと交流を深めました。



10/28(日)

台風の影響で延期になっていました、寒河地区敬老会を開催しました。  
対象は75歳以上の高齢者の方で、寒河地区の対象者は389名で、参加された方は104名でした。  
日生幼稚園児のお祝いの歌・パンナ岡山による出前講座・劇団たんぽぽ座の演劇・ビンゴ大会と多くの催し物で大盛況の内に幕を閉じました。

